

『癌の臨床』投稿規定 (61 巻 5 号より)

I. 投稿について

1. 本誌は、癌の臨床に密接に関係する総説、原著、症例などの論文で、同内容を他に印刷公表していない創意に富んだものの投稿を受付けます。
2. 投稿論文の採否は編集委員会で決定します。不採用の論文は速やかに返却いたします。なお、掲載順序は原則として採用受理順です。
3. 原稿は 2 通 (1 通はコピーで結構ですが、写真は 2 通ともデータをプリントアウトしたもの) をお送りください。
4. 掲載しました論文 (写真・図・表を含め) は返却いたしません。
5. 原稿枚数 (B5 判, 400 字詰原稿用紙)

	枚数 (図・表・文献を含む)	抄 録		組頁*	無 掲 載 頁	無 料 別 刷
		英	和			
総 説	20 枚以内	150 語	300 字	5	3	30
原 著	15 枚以内	150 語	300 字	4	3	30
症 例	15 枚以内	150 語	300 字	4	3	30
資料など	15 枚以内	150 語	300 字	4	3	30
臨床経験	12 枚以内	—	—	3	2	30

- *1 組頁は図・表・写真などの大小により異なりますのでおおよそのめどです。図・表・写真は 1 枚につき原稿用紙 1 枚と換算してください。
- *2 共同執筆者は 10 名を越えないようにしてください。
- *3 和・英抄録は採用が決定した段階で、英文抄録には 150 語の抄録の他に論文標題、著者名、所属名の英文標記、5 語以内での Key word、また和文抄録のキー・ワードは英文 Key word の和訳を付けて編集部宛にお送りください。
- *4 和英抄録とも制限字(語)数を厳守してください。
- *5 別刷の有料分は 50 部単位で作製いたします。

- 抄録は和英とも掲載いたしますので、内容は十分吟味してください。
- 英文抄録はダブルスペース以上に打ち、用紙は縦使いにしてください。
- 英文抄録は外部の専門家に校閲を依頼しております。和文抄録はその際の参考にしますので、内容の一致に留意してください。
略語、略記号は世界的に共通な場合は除き、初めは正式名を書いてください。

和英の抄録は、
原著論文の場合

- 目的(背景): 研究目的とそれを考えるに至った背景を記載。
方 法: 研究方法を記載。この中に研究期間、症例数、症例の背景因子などを記載。
結果(成績): 研究結果を記載。
結 論: 結果より引き出される結論を記載。

症例報告の場合

症例—臨床的・病理学的検討—結論

の順に書いてください。すなわち、論文の内容が抄録を読めば十分に把握できるように書いてください (例として、英文なら New Engl J Med, 和文なら JAMA (日本語訳) の抄録の書き方などをご参照ください)。

- 上記の和英抄録のない論文は受けかねますのでご注意ください。
6. 論文の構成は、つぎの見出しでまとめてください。
原著: はじめに (目的を含む)
 1. 対象 (材料)・方法
 2. 成績 (結果)
 3. 考察

まとめ

* 研究方法, 研究材料, 研究結果あるいは自他の研究成績の解釈において新知見, または創意が含まれているもの, およびこれに準ずるもの。

症例: はじめに

1. 症例
患者, 主 訴, 既往歴, 家族歴, 飲酒歴, 喫煙歴, 現病歴, 入院時現症, X 線, CT, 組織など各種検査所見
 2. 臨床的ならびに病理学的検討
 3. 考察
- まとめ

- * その症例がきわめて珍しいものであるか, あるいは, 珍しくはないが, 病態, 診断, 治療などに新知見を加えたもので, 臨床的ならびに病理学的にきちんと検索されるもの (病理学的所見が関与する場合は必ず病理の責任者を共著者に加えてください)。

